

観光ビジネス学科 シラバスの変更一覧

| 学年 | ページ | 科目名 |
|----|-----|-------|
| 2年 | 60 | 法律入門 |
| 2年 | 67 | ホテル経営 |

| 学修成果 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 科目ナンバリング | |
|-----------------------|--|-----|-------|---|-------|-------------|-------|
| | 基礎力 | 実践力 | 人間関係力 | 生涯学習力 | 地域理解力 | CO-0-HS0-04 | |
| | ● | | | ● | | | |
| 科目名 | 法律入門 | | | | 単位認定者 | 鈴木 一樹 | |
| 対象学科 必修・選択 配当年次 | 観光ビジネス学科 | 必修 | 2年 | 開講時期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 |
| | | | | 授業形態 | 講義 | 授業時間数 | 30 時間 |
| | | | | | | 授業回数 | 15 回 |
| 授業の概要 | 社会生活をしていく上で必要な基本的な法律について学修する。特に日常の社会生活・大学生活に関係の深い様々な問題を取り上げて、問題点、解決方法、回避方法など、具体的な事例を通じて理解し身につけていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | 社会問題を考える際の土台となる法律の基本的な用語や概念を理解し、説明できる。身近な法律問題の学習を通じて、自ら問題を解決するための思考方法を養う。 | | | | | | |
| 学修者への期待等 | 聞き慣れない用語や概念が多いと思いますので、復習を中心に取り組んで下さい。 法律用語と日常用語の違い、授業内で扱った事例や問題は、重点的に復習すること。その際、結論だけでなく理由も説明できるようにしておくこと。 | | | | | | |
| 回 | 授業計画 | | | 準備学修 | | | |
| 1 | 法律の種類と法律を学ぶ意味 | | | | | | |
| 2 | 憲法（1）基本的人権 ー平等権、精神的自由等ー | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 3 | 憲法（2）基本的人権 ー経済的自由、その他の人権ー | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 4 | 憲法（3）人権総括、統治機構 | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 5 | 民法（1）総則 | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 6 | 民法（2）物権 | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 7 | 民法（3）債権（契約等） | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 8 | 民法（4）債権（不法行為） | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 9 | 民法（5）親族・相続 | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 10 | 刑法（1）総論 | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 11 | 刑法（2）各論 | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 12 | 会社法（1）総論、株式 | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 13 | 会社法（2）機関、組織再編 | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 14 | 消費者法 | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 15 | まとめ（小テスト） | | | 前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度） | | | |
| 教科書 | 特に指定しない。必要に応じてレジュメや資料を配布する。 | | | | | | |
| 参考文献 | 適宜講義内で紹介する。 | | | | | | |
| 備考 | 講義は全て遠隔（オンデマンド）で実施する。講義内容は、進度に応じて変更する場合がある。各回の授業内課題については、その回で学んだことや印象に残ったことを記述したものとする（様式は特に問わない。LMSで提出とする）。また、授業内課題の評価については、この他第15回実施の小テストの結果も含むものとする。小テストの実施方法は後日連絡する。課題については、講義内でフィードバックを行う。 | | | | | | |

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

公認会計士として上場企業等の法定監査、税理士として税務業務に従事

| | | | | | |
|------|----------|----------|------------|------------|------------|
| 学修成果 | 1 基礎力 | 2 実践力 | 3 人間関係力 | 4 生涯学習力 | 5 地域理解力 |
| | | ● | | | ● |

| |
|-------------|
| 科目ナンバリング |
| TB-3-ECO-07 |

| | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|----|----|------|---|-------|-------|-------|--------------------------|------|
| 科目名 | ホテル経営 | | | | 単位 認定者 | 成澤 広幸 | | 評価の方法 | 試験(レポート) | 50 % |
| 対象学科 必修・選択 配当年次 | 観光ビジネス学科 | 選択 | 2年 | 開講時期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | | 授業内課題 | 30 % |
| | | | | | | 授業時間数 | 30 時間 | | 受講態度 | 20 % |
| | | | | 授業形態 | 講義 | 授業回数 | 15 回 | | | |
| 授業の概要 | 本科目は現在急拡大しつつあるインバウンド需要、増加傾向の国内需要、加速する外資進出、解禁された民泊など多様化する宿泊業界において、ホテルを中心とする宿泊業の経営の実際についていくつかの事例研究により学ぶとともに、広義の観光活動から見る宿泊業経営のあり方について学ぶ。 | | | | | | | | | |
| 到達目標 | 宿泊施設の多様な環境、特に立地、ターゲット層、和風と洋風の違いなどを理解するとともに、それぞれの環境で培われた最適な経営方法を学ぶことで現代における観光宿泊施設の特徴を自分の言葉で表現できるようになる。 | | | | | | | | | |
| 学修者への期待等 | ホテル・旅館を中心とする宿泊施設は実に多彩な環境にあり、経営方法も多様です。そうした観光宿泊施設の経営の一端に触れることで観光の世界の奥深さを体感してもらいたいと思います。 | | | | | | | | | |
| 回 | 授業計画 | | | | 準備学習 | | | | 担当 | |
| 1 | ガイドンス/最終発表についてのアナウンス | | | | ホテル経営について教科書やネットをもとにあらかじめ調べておくこと(概ね30分)。 | | | | 成澤 広幸 | |
| 2 | 旅行会社が求めるホテル・旅館について | | | | 旅行会社と宿泊施設の関係について調べておくこと(概ね30分)。 | | | | 成澤 広幸 旅行会社スタッフ | |
| 3 | 事例研究1 泉ロイヤルパークホテル：ホテルにおけるインバウンド誘客について | | | | 泉ロイヤルパークホテルについてネット等で調べておくこと(概ね30分)。 | | | | 成澤 広幸 泉ロイヤルパークホテルスタッフ | |
| 4 | | | | | | | | | | |
| 5 | 旅行代理店とホテル・旅館との連携について | | | | 旅行会社がどのように宿泊業と連携すれば観光振興につながるかを考えておくこと(概ね30分)。 | | | | 成澤 広幸 旅行会社スタッフ | |
| 6 | 事例研究2 アキウ舎(秋保温泉)：街づくりが与えるホテルへの影響について | | | | アキウ舎についてネット等で調べておくこと(概ね30分)。 | | | | 成澤 広幸 アキウ舎スタッフ | |
| 7 | | | | | | | | | | |
| 8 | 事例研究3 小松館 好風亭(松島温泉)：日本三景のホテル経営について | | | | 好風亭についてネット等で調べておくこと(概ね30分)。 | | | | 成澤 広幸 好風亭スタッフ | |
| 9 | | | | | | | | | | |
| 10 | 国の観光政策と宿泊業の現状について | | | | 観光政策における宿泊業について、観光白書などで予習すること(概ね30分)。 | | | | 成澤 広幸 東北運輸局観光部長 | |
| 11 | 事例研究4 流辺別邸 観山聴月(青根温泉)：ホテル経営について | | | | 観山聴月についてネット等で調べておくこと(概ね30分)。 | | | | 成澤 広幸 観山聴月スタッフ | |
| 12 | | | | | | | | | | |
| 13 | 事例研究5 緑水亭(秋保温泉)：街づくりが与えるホテルへの影響について | | | | 緑水亭についてネット等で調べておくこと(概ね30分)。 | | | | 成澤 広幸 緑水亭スタッフ | |
| 14 | | | | | | | | | | |
| 15 | まとめ：「ホテル経営」を振り返って | | | | 各授業の内容を復習しておくこと(概ね30分)。 | | | | 成澤 広幸 | |
| 教科書 | 特になし | | | | | | | | | |
| 参考文献 | 適宜紹介する | | | | | | | | | |
| 備考 | 本授業はオムニバス形式で実施される。 | | | | | | | | | |

※以下は該当者のみ記載する。

| |
|---|
| 実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性) |
| |